

C—25 和服寸法設定上の一考察
(前幅・後幅・衿幅について)

相模女大学芸 ○永井 房子
藤沢美智子

1. 直線と平面で構成される和服は標準寸法で仕立てる箇所が多く従って一枚の着物が着つけいかにだれにも着用できる特徴がある。が体格の差・美しく着やすい着物を考える時各人の体格によって各部の寸法をきめることが望ましい。今回は身幅に関する部分について寸法設定上の考察を試みた。

2. 本学学生 18 才～19 才の健康な女子 100 名を被験者とし長着着用に関係すると思われる部位の人体計測を行ない、最大・最小・平均の各モデル 5 名ずつ計 15 名を選び標準寸法の浴衣を着用させ着装実験及び身幅の割出し式 4 種について検討をした。着装実験項目：①脇線の位置。②下前身幅の端と腸骨棘との距離。③背縫いの位置。④正しく腰かけた時の膝位置における脇線の位置。

身幅の割出し式

単位 cm

	後 巾	前 巾	備 考
I 式	$\frac{H}{4} + 6$	$\frac{H \times 1.5}{2} - (\text{後巾} + \text{衿巾})$	H……腰囲 衿巾…15cm
II "	$\frac{H - (H \times \frac{1}{2} - 8)}{2} + 1$	$H \times \frac{1}{2} - 8 - \text{衿巾}$	
III "	$\frac{H}{4} + 6$	$\frac{H}{4}$	I 式 = IV 式
IV "	前巾 + 5	$\frac{H \times 1.5 \times \frac{1}{2} (\text{衿巾} + 5)}{2}$	

3. 1. 着装実験の結果。2. 割出し式の検討。着装実験より 3 式の適用が腰囲りの大小によって一様でないことが分かった。即ち $H < 84 \text{ cm}$ の時 III 式 > I 式 > II 式。

測定項目 \ 寸法	平均	最大	最小
	cm	cm	cm
1	-0.77	9.52	-11.7
2	2.48	19.2	-9.2
3	1.68	10.1	-4.4
4	-1.41	8.86	-11.6

H=84 cm の時 I 式 = III 式 > II 式。84 cm < H < 96 cm の時 I 式 > III 式 > II 式。H=96 cm の時 I 式 > II 式 = III 式。H > 96 cm の時 I 式 > II 式 > III 式となる。